



JASDAQ

平成26年4月14日

各位

会社名 株式会社 ウエストホールディングス
代表者 代表取締役会長 吉川 隆
(コード番号: 1407)

問合せ先 執行役員財務経理部部長

椎葉 栄次

電話番号 03-5358-5757 (代表)

平成26年8月期第2四半期連結累計期間の業績予想と 実績値との差異に関するお知らせ

平成25年10月15日に公表しました平成26年8月期(平成25年9月1日～平成26年8月31日)の第2四半期連結累計期間の業績予想と、本日公表の実績値に差異が生じたので下記のとおりお知らせいたします。

記

1. 平成26年8月期第2四半期連結累計期間の業績予想と実績値との差異 (平成25年9月1日～平成26年2月28日)

	売上高	営業利益	経常利益	四半期純利益	1株当たり 四半期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想(A)	34,301	4,162	4,042	2,224	81.75
実績値(B)	27,603	4,355	4,103	2,630	96.67
増減額(B-A)	△6,697	193	61	406	—
増減率(%)	△19.5	4.7	1.5	18.3	—
(ご参考) 前期第2四半期実績 (平成25年8月期第2四半期)	23,015	3,075	2,639	1,376	50.87

(注) 当社は平成25年9月1日付で、普通株式1株につき2株の割合で株式分割を行っております。前連結会計年度の期首に当該株式分割が行われたと仮定して、1株当たり四半期純利益を算定しております。

2. 差異の理由

売上高は、グリーンエネルギー事業において、メガソーラーを含む産業用の太陽光発電システムの需要は好調に推移しましたが、今年2月の関東甲信地方に記録的な大雪が二度も降ったことにより、対象となる地域の工事が大幅に遅延いたしました。また、前期より注力している大手パワービルダー向けの新築戸建住宅向け太陽光発電システムの搭載率が低下したこともあり、収益性の低い新築・既築用住宅卸売の売上高が当初計画値対比で5,178百万円減少したことを主因として、当初公表いたしました業績予想を下回りました。

一方、利益面につきましては、前記の売上高未達要因はありましたが、売上高構成比の高いメガソーラーを含む産業用の太陽光発電システムの売上総利益率が当初予想を上回ったことにより、営業利益、経常利益、四半期純利益ともに当初公表いたしました業績予想を上回りました。

なお、通期連結業績予想に関しては、平成25年10月15日付「平成25年8月期決算短信」において発表した計画を修正しておりません。

以上